



●会派所属議員

新しい風を
すみだに
おこしたい!



田中 さとし

事務所 〒130-0024 東京都墨田区菊川 2-10-1
☎03-5625-3104
HP <http://www.s-tanaka.jp/>
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/satosija2/>

所属委員会
区民文教委員会／行財政改革等特別委員会

地域を元気に!!
町を元気に!!
町会の絆を
大切に!!



細田 一夫

事務所 〒130-0011 東京都墨田区石原2-15-9
☎03-3622-3779
HP <http://www.sumida-kizuna.jp/hosoda/>
ブログ <http://kizuna-hosoda.cocolog-nifty.com/>

所属委員会
福祉保健委員会／都市開発・災害対策特別委員会／
議会運営委員会

皆さんの想いを
区政に
つなげます



西村 たかゆき

事務所 〒131-0045 東京都墨田区押上 2-7-2
☎03-3626-3122
HP <http://www.sumida-kizuna.jp/nishimura/>
ブログ <http://takayuki-nishimura.cocolog-nifty.com/>

所属委員会
産業都市委員会／観光対策特別委員会

地域連合「すみだの絆」は

地域に根差した課題や疑問を持ち寄り、じっくりと議論をしていくことで、すみだを暮らしやすく、過ごしやすいまちにしていこうと平成23年統一地方選挙で当選した無所属の議員3名で立ち上げた会派です。無所属議員らしく、フットワークよく、まちと行政の「かけはし」となることを目指しています。また、議決については、会派として拘束をすることなく、議員一人ひとりの判断を尊重することを旨としています。



予算についての豆知識

墨田区のお財布

墨田区には4つのお財布があります。



1066億円
一般会計
(ふつうのお財布)



国民健康保健
特別会計



介護保険
特別会計



後期高齢者医療
特別会計

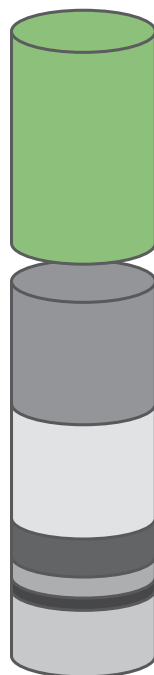
…… 一般会計

平成26年度予算では、およそ1066億円計上されています。さて、このお金はいったいどこから来るのでしょうか？ 収入の内訳を見ましょう。

入るお金

お金はどこから?

墨田区一般会計 歳入
(26年度予算1066億円)



★1 特別区交付金 36.3%

特別区税 20.5%

★2-1 国庫支出金 19.3%

★2-2 都支出金 6.8%

特別区債 3.6%

手数料 2.1%

その他 11.4%

★2-1,2 国支出金／都支出金

*区が事業を行う時に、国や都の負担・補助があるものがあります。

例えば、社会福祉法人が安心子ども基金を使って認可保育園を建てる場合

国 4/8(1/2) 都 1/8
区 2/8(1/4) 事業者 1/8

*もちろん、国や都が100%負担するものもあります。

例えば、この間の 都知事選挙・衆議院議員選挙等は区の持ち出しはありません。

ちなみに特別区債は区の借金です。

★1 特別区交付金

一番多い特別区交付金を見ましょう(歳入全体の約1/3強)。これは、本当は区の税金なんだけど、都が集めて23区に分配しているんです。

財源は、3つの税金

固定資産税

市町村民税(法人分)

特別土地保有税

何故、こんなことをしているかというと…

①本来、市(区)の業務のうち都がやってるものがあるから

(例えば水道とか消防とか)

②区によって財政力に差がある中で、行政水準の均衡を図るため

だから3つの税金を都が集めて、その55%を都、残りの45%を23区に分配しているんです。

23区にどう分けるかというと…

各区で必要であろう額を計算し、そこから、今のままではどのくらい足りないかを計算し、それに応じて分けています。(いくら足りなくても分配される総額はかわらないのですが)

この制度を一般的に

「都区財政調整制度」(通称「ざいちょう」と言います。

一見、便利な制度に見えます。(墨田区はずいぶん助かっているとも言えます。)

でも、課題もいろいろあります。

*ホントに55対45が妥当なの?

*もっと、区に権限と財源を渡した方がいいんじゃないの?

これは23区が出来て以来の課題です。

(移管された例= ごみの収集 等)

使うお金

お金の使い方(平成26年度予算1066億円)

民生費	高齢者・子ども・生活保護	54.4%
教育費	学校・生涯学習	10.3%
総務費	防災・広報	8.1%
土木費	道路・公園・まちづくり	8.6%
区民生活費	町会・文化振興	5.6%
資源環境費	ゴミ収集・リサイクル	3.8%
衛生費	保健所関係	3.3%
産業観光費	商工業・観光	1.8%
その他	諸支出金・議会費等	4.1%

お金の使い方を目的別に見ると、左図のとおりで、予算全体の中で占める割合は毎年ほぼ同様です。

また、性質別に見ると、扶助費(福祉関係費)が31%、人件費(職員人件費)が18%、公債費(借金の返済)が3%、投資的経費(施設建設など)が10%となっています。

なお、財政の弾力性を示す指標として経常収支比率があります。本区はこの比率が90%を超えており、23区平均よりも高くなっていることから、弾力が低い状況となっています。